

# 躍進

YAKUSIN

# No. 12

株式会社 加藤組社内報「躍進」

発行日/平成3年1月1日

発行/株式会社 加藤組

男鹿市脇本脇本字向山18-6 TEL (0185)25-3001(代)  
FAX (0185)25-2234



KATO

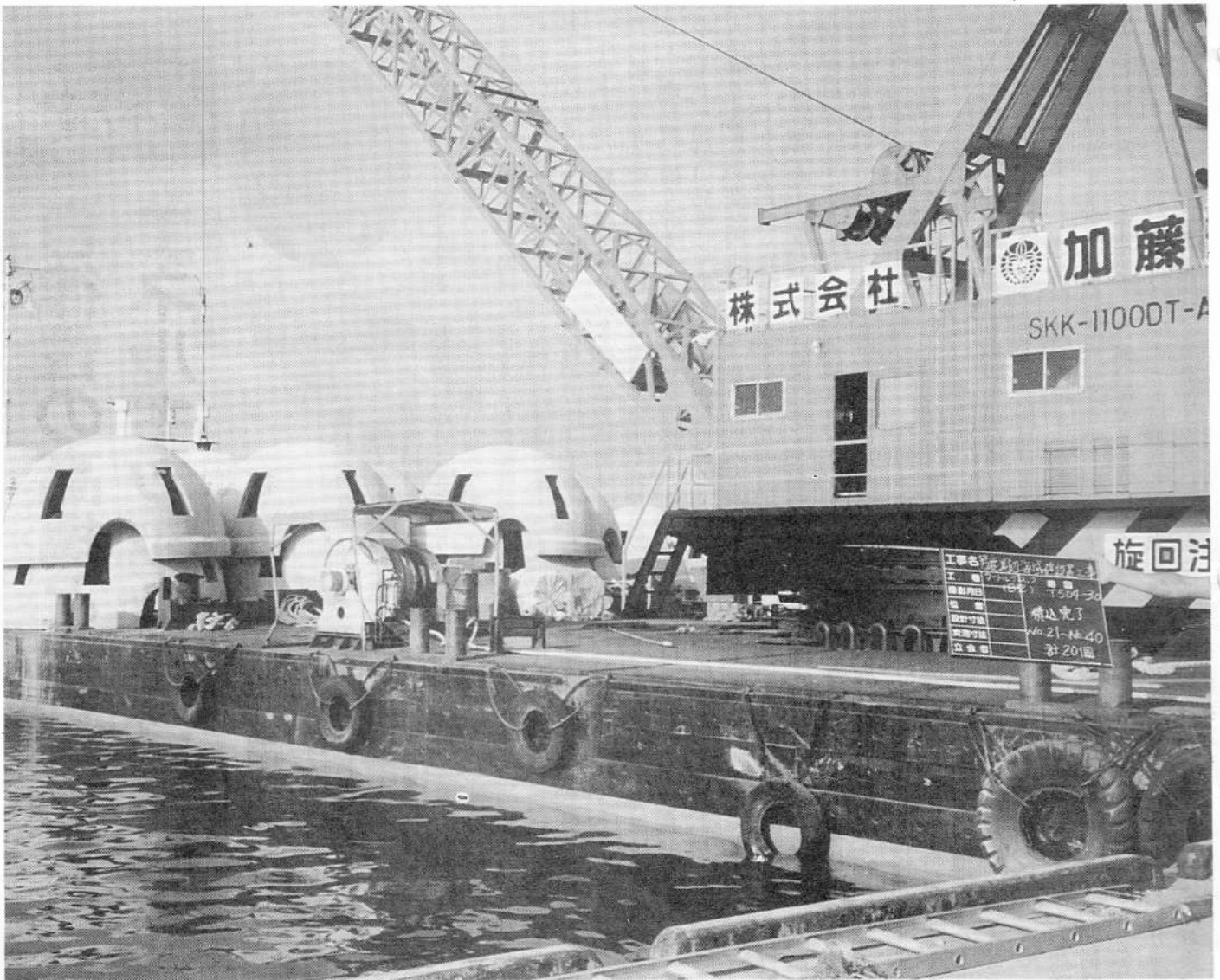
KATOGUMI CO.,LTD

株式会社 加藤組

光飯商事株式会社 日本アスコン株式会社  
秋田ブロック工業株式会社 秋田建設運輸株式会社

## 明けましておめでとうございます

## 平成三年元旦



明けましておめでとうござ  
います。

清新な気持ちで新しい年を  
お迎えのことと存じ、謹しん  
で皆様のご多幸をお祈り申し  
上げます。

全国で業者数五二万社、就  
労人口五六〇万人、七〇兆円  
市場といわれている建設業界  
ですが、解決しなくてはなら  
ない多くの課題をかかえてお  
ります。特にイメージアップ、  
ゆとり志向への対応等が時代  
の流れとともに本格的に取組

まれております。

昨年、原田康文君が、第七  
回「建設業に働く若者からの  
メッセージ」に応募し、全国  
唯一の労働大臣賞に輝き、心  
からお祝い申し上げます。

建設業は確かにきつく危険  
もありませんが、物を造る喜び、  
完成したときの感動は、苦勞  
した以上に大きいものであり  
ます。若い人達が、各々の目  
標を目指し、現場の苦勞を通  
じて着実に成長していること  
を高く評価したいものです。

働く喜びと、造る喜びとが  
ある建設業ですが、やはり職  
場での連帯感、社会一般のご  
理解、家庭でのぬくもりを得  
ることが、何よりも重要であ  
ると考えます。

地方の時代、文化の時代と  
いわれて久しいわけですが、  
これはその地域の歴史、風土  
伝統、文化が反映され、人と  
人との心がふれ合う地域社会  
を進めることにより実現する  
ものと感じております。

心にゆとりがあり、日々の  
暮らしに生きがいを求めて生  
活することが、「文化の時代」  
を創造するものだと思ってい  
ております。

皆さんが建設しております  
建物、道路、橋梁、港湾など  
も、従前の安全性、効率性、  
経済性に加え、自然との調和、  
後世に残る美的なもの、地域

### 平成3年度 基本方針



# 自律性の高揚と エネルギーシユな行動を

社長 加藤 義光

明けましておめでとうござ  
います。

皆さんには、ご家族お揃い  
で楽しいお正月をお過しのこ  
とと思っております。

昨年十一月、原田康文君が  
「現場に青春を賭ける」と題  
して、建設業に働く若者から  
のメッセージで、見事に労働  
大臣賞を受賞し、会社内に明  
るいニュースを与えてくれま  
した。受賞した本人の喜びは  
もちろん、会社としても名譽  
なことであります。

住民に親しまれるものが求め  
られており、文化性という地  
域づくりに根ざした開発の必  
要性が重要なことだと考えて  
おります。

昨年、大和路を視察してき  
ましたが、このことを強く感  
じてまいりました。桓武天皇  
が平安京を定めてから千二百

厳しい建設業のなかにあつ  
て、そこに働く喜びを見付け  
それに青春を賭けるといふ気  
概は素晴らしいことであり、若  
さの特権でもあります。この  
若さの活力を職場全体に広げ  
て欲しいと思っております。

若さとは、年齢のみをいう  
ものではありません。私が土  
木部内に掲げているサルエル  
ウルマンの言葉のなかに「青  
春とは人生のある期間ではな  
く、心の持ちかたをいう」と  
あります。

信念、自信、希望をもつこ  
とが若さであり、疑惑、恐怖  
失望が老いであります。年齢

が若くても消極的な気持ちで  
は若さの特権は活かされませ  
ん。一年ごとに年齢は増える  
のですが、それは経験が増え  
るのであり、その経験を若さ  
の情熱で活かすことが大切で  
あります。

平成三年を迎えるにあつ  
て「自律性を高めることに努  
め、エネルギーシユで積極的  
な行動をしよう」を基本方針  
にして事業を進めていきたい  
考えであります。

当社では休日の増加など職  
場環境の改善によりイメージ  
アップに努めていますが、さ  
らに重要なことは、人、物の

年になる京都では、このお正  
月に、商売繁昌、開運招福、  
七福即生、福德自在、延寿福  
楽、不老長寿、諸縁吉祥を祈  
願し市内七ヶ所の守神めぐり  
で大にぎわいの時期ですが、  
古都の街並みを守るため、東  
寺の五重塔の高さ四五米を越  
える建物は規制していたわけ

ですが、時代の要請により百  
米を越える高層ビルが誕生す  
るそうであります。  
奈良公園は、東西四キロ南  
北二キロにおよぶ総面積六六  
〇haの広大な自然公園ですが  
その中に、東大寺、興福寺、  
春日大社などの建物が点在し  
歴史と自然が渾然と融けあい

有効活用です。各人がもって  
いる潜在能力を開発し、自己  
の理性に従い、外的条件に惑  
わされず、自分が方針を樹て  
て行動する「自律性」を高め  
ていかなければなりません。  
スタッフから指示されたこ  
とに忠実なだけでなく、失  
敗を恐れず、エネルギーシユ  
に行動し、上司は部下が自律  
性を高められるよう助言し、  
それを尊重して事業の遂行に  
反映されることが必要です。

本年は、横手、北上間の高  
速道路、大瀧村に建設してい  
る生物資源総合開発利用セン  
ター、秋田港湾地域の工事な  
ど大型プロジェクトを中心に、  
さらに拡大発展を図る考えで  
あり、全事業の円滑実施にあ  
たっては、協力会の武田会長  
のもと、一丸となって進めて  
欲しいと思っております。

新しい年にあたり、ご家族  
の皆様方には、ご健康で、ま  
すます繁栄されますようお祈  
りします。

古都の美しい景色をかもしだ  
してまいります。  
祖先が苦難をのり越えて築  
いてきたこの郷土を、建設を  
通じ国際化時代にふさわしい  
新しい感覚で次代に誇れるも  
のを引き継ぐよう今年一年協  
力一致して邁進されますよう  
お願いいたします。

お願いいたします。

## 自然に調和する建設業へ 平成3年の新春にあたって



協力会会頭 加藤 義孝



土木部次長  
鎌田惣市郎  
6.8.28生

昭和四十年に入社してから二十六年目になり、今年はずな退職の年でもあります。

四半世紀にわたる社員生活の有終の美を飾る意味からも健康に留意し、後悔しないよう頑張るつもりです。今年もどうぞよろしく。



建設運輸副主任  
船木新一  
18.1.3生

私の干支は羊、会社に入社した年も羊、何か私には縁のある年である。この一年を一つの節目とし、新たな気持ちで事故、災害等に注意して、今年目標にチャレンジし、悔のない充実した年であるよう頑張りたいと思います。



総務部副主任  
三浦久美子  
42.1.1生

入社して六年目の春を迎えることができました。昨年の暮頃から習い始めた



営業部  
大淵俊子  
42.1.7生

二十四歳を迎えた今年、

料理が上手になるように頑張ります。そして私の料理を食べてくれる人を早く見つけたいと思います。若い独身で、食べっぷりのいい健康な方を募集します。

# 年男、年女の抱負

## 多岐亡羊、羊頭狗肉にならないように

皆さん、明けましておめでとうございませう。今年も羊年になります。この一年は、多岐亡羊、羊頭狗肉にならないように、羊の頭を食うのではなく、羊の肉を食うように頑張りたいと思います。



課長  
佐藤忠成  
30.9.6生

茶道を、今年はいくらかでも上達できるように頑張りたいと思います。先生から、お茶の作法や難しいものではなく、日々の生活のなかで活かしていくところを大事だということを教わりました。その心境に一步でも近づけるよう勉強したいと思えます。

今年は、岩手県和賀町で東北横断自動車道のトンネル工事に着手します。まさに、羊の皮を被った狼になるために、また他社に対



商事  
加藤洋子  
42.11.4生

しスベックの充実、そしてより高いアドバンテージを図れる絶好の機会です。わが社のネームバリューを上げ、未知の世界に飛び込み知識を吸収したいと思えます。

今年、未年という事で、社会に出てから、初めての年女という訳ですが、一つの区切りでもありますので、一日一日を大切に、やりたかった事は即、実行に移すように心がけ、色々な事にチャレンジし充実した年にしたいと思います。



日本アスコ  
児玉和子  
42.12.20生

早いもので、アスコンに移ってからもう二年目になる訳ですが、今年、年女ということで、一つの節目とし、何事にもメリゲずにチャレンジ精神で頑張りたいと思えます。そして、早く素適な彼氏を見つけて、お嫁さんに行きたいです。皆さん、応援して下さい。



土木部副主任  
原田康文  
42.11.23生

昨年十一月、思いがけず労働大臣賞の栄に浴し、感激しました。これも会社の皆様のご指導によるものです。受賞後、新聞、テレビで報道され、私の実力以上の評価をいただき、恥ずかしい思いもしました。今年、羊年です。受賞に恥じないよう実力をつける一年にしたいと思います。

いま和賀町の現場にいます。他県の大手会社とのJVですので、加藤組の真価を高めるため、最善の努力をします。



建設運輸主任  
船木秀悦  
18.7.3生

私は昭和五十四年から生コンクリートの運搬をしてきましたが、新時代、平成三年を平穏な運転で頑張りたい。昔から今日までのNGを二度と繰返さないよう気を付けて、今年一年間を健康で、無事故、無違反でいきたいと思っております。



機械副主任  
齊藤和男  
30.2.10生

社歌に「港湾の技能日々新たなり」とあるように、今年、羊年でもあり、よりハイジヤンプしたいと思えます。また、港湾工事の実態、局面をしっかりと見極めていただき、一層のご理解を示していただきたいと思います。



商事  
安藤政春  
18.9.17生

私が前に勤めていた会社の安全標語に「機械の心はあまくない、ゆるんだ気持を誘いこむ」というのがありました。一日中、気を張りつめて仕事するのは容易ではありませんが、運転中は、事故に遇わない、起こさない、を目標にして、この交通戦争の中、運転には十分気をつけて、安全運転でスタンド、現場給油に頑張りたいと思えます。



# 奮闘中 日本海からの寒風をついて

土木主任 伊藤 彦 助

工事場所 男鹿市船川港字小浜  
 作業内容 床固工 一五四㎡  
 流路工 二五五㎡ 谷止工 二二〇㎡  
 落差工 帯工など  
 工事期限 平成三年二月二十日

男鹿の海、そして日本海を よく作業できますが、冬にな  
 眺めながら山の工事ができる つた今は、工期に追われなが  
 小浜の現場、夏ならば気持ち たら、寒風に耐えながら、なん  
 としても立派に  
 完了させようと  
 二十人の現場員  
 が、休日も返上  
 して頑張ってい  
 る現場、それが  
 地域活性化対策  
 緊急整備治山事  
 業の小浜現場で  
 す。



## 現場レポート



この現場は小浜と双六の境にある沢の溪間改修工事で、谷止め、床固め、落差工、水路工等々、多種多様の工事であるほか県道から現場までの運搬路作設にあたっての地元折衝に手間どって本体工事に

### 女性社員の現場パトロール

総務は現場を理解し、現場は和やかに



着手するのが遅れ、現在は工期内完了を最大の目標にしております。

この現場は、当社の「安全管理重点事業場」にも指定され、社長はじめ安全衛生委員のパトロール、指導により、ともすれば能率第一、安全第二になりがちな現場員の気持ちを引き締めてもらい、無災害で推移していることは喜ばしいと思っております。

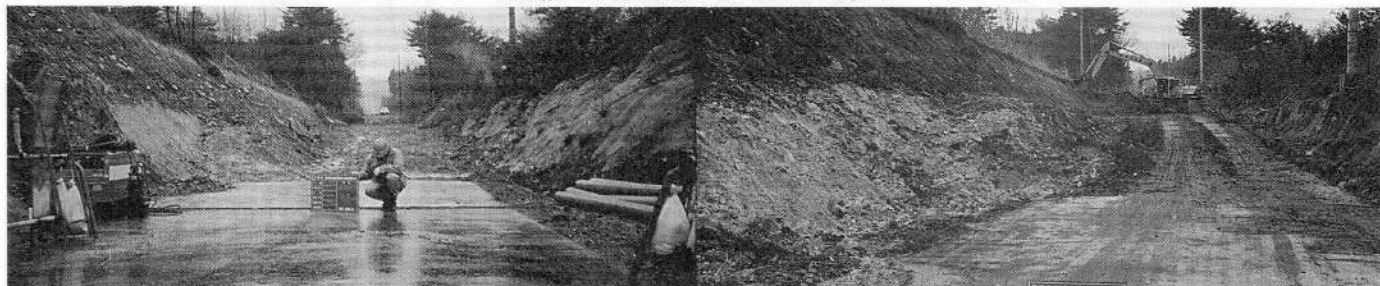
十二月十八日には、初めて本社女性社員によるパトロールが行われました。技術面で詳しくないのは当然ですが、女性らしい、やさしさのあるパトロール、それを迎える現場従事者の和やかな雰囲気はこれまでなかった効果として安全作業に役立ちますし、また、女性社員が現場作業に理解をもつことが、土木と総務の連携の上で、役立つものと思えます。

暖冬気味とはいっても、現場の状況はこれから益々厳しくなると思えますが、私たちは一生懸命頑張りますので、皆さんの応援もお願いします。

## 東北横断自動車道工事 初の岩手県進出

中央大手とのJVで

既設道路の拡幅、舗装工事 (右が着手前)



秋田県内の高速交通の幕あけとして、七月には東北横断自動車道の横手、秋田間が開通しますが、縦断道に接続する横手、北上間の工事も始まってまいります。その中心部である岩手県和賀町地内の工事について、当社は中央大手の羽沢建設と企業体を組んで受注しました。

今回受注したのは、東北横断自動車道岩沢工事用道路工事で、トンネル工事、既設道路の拡幅舗装工事等で、工事額は約五億円、工期は平成四年八月となっております。

当社からは原田副主任が現地へ泊り込みで派遣され、加藤組の真価を他県に印象づけるよう頑張っております。



# 現場に青春を賭ける

原田 康文

毎日のように真夏日が続いた一昨年七月のある日、私の

直接の上司である現場代理人のN先輩から「原田君、私は家庭の事情で急に会社を辞めなければならぬ。後任の代理人は会社から指名されるがこの現場管理は実質的に前がやらなければならない」と突然いわれ、私の身体から血が引けて、寒む気がしたものでした。

それもそのはずです。当時私は石油備蓄基地の建設工事現場で働いておりましたが、高校を卒業してからやっと三年目、地元会社の社員という安心感と、補助員という依存感で、毎日一生懸命働きながらも、悠長なサラリーマン的

気持ちだったのです。それが一転して工事現場の実質的な責任を負わされることになるのですから大変です。新しい先輩の代理人が会社から指名されても、石油備蓄のこの現場に関しては新人ですから、関連の他会社との関係や、仕事の流れなどのことを思えば私の責任は重大になるのです。いきなり実質的な責任を持たせられて、私は緊張しまし

た。そして間もなく私は失敗してしまいました。

現場代理人が交替した頃の仕事のひとつに、資材運搬路の排水管理設工事がありました。埋設工事そのものは終了しましたが、広い道路ですか

## 建設業に働く若者からのメッセージ 労働大臣賞受賞



賞状  
株式会社加藤組  
原田 康文 殿  
あなたは平成元年建設業改善推進月間活動に多大の貢献をなされ、建設業に働く若者からのメッセージに代表され、労働大臣賞を受賞されました。よってこれ賞与します。  
平成二年十一月九日  
労働大臣 塚本 晋三

では、その標識、バリケードなどの安全措置が必要で、工事終了または中断のときにしっかりと始末をおこなう必要があります。この事故では、幸い人身事故にはなりませんでした。生コン車大破という多大の損害を会社に与えてしまいました。

この事故を運転者の責任と考えるか、現場監督員の責任と考えるかによって私たち建設業に働く者の方向づけがなされるのではないのでしょうか。

十一月は建設業雇用改善推進月間であり、恒例のメッセージ募集に応募した原田康文君は、昨年の佐藤雅宜君に続いて優秀賞、しかも全国第一位といえる労働大臣賞に輝きました。

最後に会社にお願ひがあります。時間外でも休日でも喜んで働くためには、会社から現場を委せられているという期待感が欲しいのです。私たち若者では頼りない、とは思いますが、私たちが信頼し、時には失敗をさせて下さい。その失敗を恐れなくて現場を委せてもらえませんか。小さな失敗を繰り返すことがあっても、やがては会社に対して大きな貢献になれると思ひます。

十一月は建設業雇用改善推進月間であり、恒例のメッセージ募集に応募した原田康文君は、昨年の佐藤雅宜君に続いて優秀賞、しかも全国第一位といえる労働大臣賞に輝きました。

建設業は、時間外労働や休日労働によって支えられているという考え方がありますがこれは誤解です。作業業者や現場代理人が無計画だからこうなるのです。朝から夕方まで働いて、もう少しやった方がいいだろうと簡単に考え、暗くなるまで仕事をします。また月曜日から土曜日まで働いてさらに明日も現場にいななければ心配だと、単にそれだけのことでズルズル働いているに過ぎないのです。漫然と現場に長時間いるだけでは能率はあがらないし、良い仕事もできません。だから建設工事現場を生きものと考え、友達と

私たちが若者の考え方や行動が心配ですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

ら片側利用だけでも十分通行可能でしたので、埋戻しが不十分のまま、他の現場の監督をしていたときに、その道路で方向転換のためバック中の生コン車が路肩に寄り過ぎて埋戻し不十分な箇所にはまり込み、横転するという事故を起こさせてしまいました。その時は、運転者の責任であると思っていました。よく考えてみると、工事現場につい

て私の考え方は変わりました。建設業の現場だって生きています。現場の土砂でも、資材でも、構造物でも生きています。現場の土砂でも、資材でも、構造物でも生きています。現場の土砂でも、資材でも、構造物でも生きています。現場の土砂でも、資材でも、構造物でも生きています。

現場の土砂、資材、構造物たちが、留守を心配しない

日曜日にも休まない、有給休

願ひします。

# 平成2年度 協力会総会

## 和やかに開催 忘年懇親会で一泊



あいさつする  
武田会長

平成二年度の株式会社加藤組協力会の総会は、十二月二十三日、天皇誕生日の佳き日に、男鹿温泉白竜閣において会員百二十名が参加して盛大に行われました。



謝辞を述べる  
加藤和磨さん

はじめに加藤組関係物故者の追悼を行ったあと、挨拶にたった武田会長は「いまの建設業は極めて厳しい状況である。そして人手不足が深刻である。このようなきときこそ、われわれが頑張って立派な仕事をしなければならぬ」と全員に呼びかけました。

最後に、本年四月、県議選に出馬を予定している加藤副社長に対して、満場一致で推薦状を贈り、ご健闘を祈り、協力を誓いました。

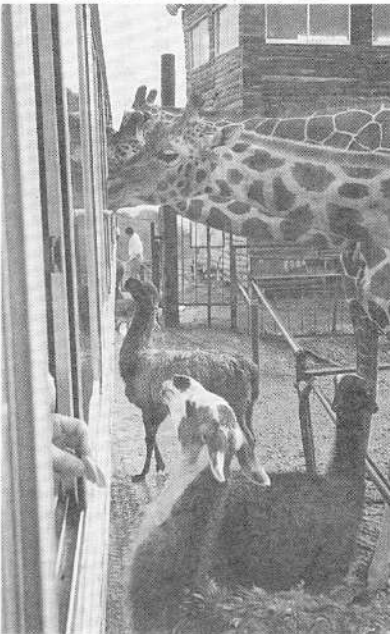
恒例の懇親会は、今回も一泊で実施しましたが、やはり宿泊ともなれば、みんな腰を落ちつけて、じっくり懇親を深め、明日への活力を養いました。



満場一致で推薦した  
加藤義康氏

々は別掲の六名のほか、永年勤続、安全標語、写真コンクールなど多数ありましたが、受賞者を代表して土木課の加藤和磨さんが「今日の感激を明日からの仕事に反映させます」と謝辞を述べ、会長以下の役員全員留任を決めて総会は滞りなく終了しました。

### 食物をねだる動物たち



## 社員旅行 飯坂温泉とサファリーパーク

恒例の社員旅行について平成元年度は、会社創業五十周年記念の家族懇親会に替えましたが、二年度は福島県まで足を伸ばしました。

片道四百軒、一泊二日の行程では多少無理かと思いましたが、男鹿観光協会の献身的な協力と社内旅行運営委員の細心の準備により慰労、懇親の効果満点（自画自賛）の旅行ができました。

第一日目の出発時は雨降りでしたが、昼食を兼ねて毛越寺を見学した頃は、雨もあがり、ようやく社員旅行の気分が盛りあがってきました。八百年の歴史をもつ平泉文化にひたる間も惜しみ、飯坂へ直行（バスの中で飲み過ぎて蛇行気味の人も?）。

旅行のメインである夜の懇親会は、ホテルのサーブスもよく、餅つき、カラオケ、くだ巻き、談笑等々、近年になく盛り上がり、夜の更けるまで続きました。

第二日目は、二本松城の菊人形展を見学しました。一株に千輪の花をつけた菊には、ただ感嘆するのみでした。

次いで、猛獣を放し飼っているサファリーパークへ行きました。少し寒むかつたため、ライオンなどの動きは緩慢でしたが、らくだ、きりんなどが食物欲しさにバスの窓から顔を入れてきて、こわさ半分の珍らしい体験をすることができました。

駄足旅行でしたが、濃縮な体験をそれぞれ心に入れて、

恒例の社員旅行について平成元年度は、会社創業五十周年記念の家族懇親会に替えましたが、二年度は福島県まで足を伸ばしました。

片道四百軒、一泊二日の行程では多少無理かと思いましたが、男鹿観光協会の献身的な協力と社内旅行運営委員の細心の準備により慰労、懇親の効果満点（自画自賛）の旅行ができました。

第一日目の出発時は雨降りでしたが、昼食を兼ねて毛越寺を見学した頃は、雨もあがり、ようやく社員旅行の気分が盛りあがってきました。八百年の歴史をもつ平泉文化にひたる間も惜しみ、飯坂へ直行（バスの中で飲み過ぎて蛇行気味の人も?）。

旅行のメインである夜の懇親会は、ホテルのサーブスもよく、餅つき、カラオケ、くだ巻き、談笑等々、近年になく盛り上がり、夜の更けるまで続きました。

第二日目は、二本松城の菊人形展を見学しました。一株に千輪の花をつけた菊には、ただ感嘆するのみでした。

次いで、猛獣を放し飼っているサファリーパークへ行きました。少し寒むかつたため、ライオンなどの動きは緩慢でしたが、らくだ、きりんなどが食物欲しさにバスの窓から顔を入れてきて、こわさ半分の珍らしい体験をすることができました。

駄足旅行でしたが、濃縮な体験をそれぞれ心に入れて、

### バスの長旅もまた楽し



午後八時に本社前に帰着しました。旅行の楽しい疲れは仕事の活力になるから不思議です。今回は、二泊三日位で、もう少し速くへ行きたいという希望がますます強く感じられました。

### 餅つき



西方錬悦さん  
(海光丸船長)



内田 透さん  
(土木課)

### 安全表彰



蓬田京子さん  
(土木課)



加藤和磨さん  
(土木課)



船木一美さん  
(秋田建設運輸)



鈴木金二郎さん  
(機械副主任)

### 一般表彰

### 表彰された方々



## 安全最優先職場の確立と 歩行者保護のゆとり運転を

新年おめでとうございます。今年ほど新しい年が待ち遠しいと感じたことはありませんでした。それもそのはずです。昨年、当社の安全衛生生活動は、結果的に最低の年になってしまいました。

正月気分はまだ残る一月二十四日、運搬車の荷台から転落して、右手首脱臼骨折で全治三カ月の重傷を負う労働災害が発生し、同じ日に第三十五海光号のブーム破損という大きな物損事故も起きてしまいました。その後、次々と事故が発生し、下請業者関係も含めて、人身事故が七件、物損事故が九件で、これは二十三日に一回事故が発生したということとなります。なかでも三月二十二日には、建設運輸の生コン車により、オートバイ運転の若者が死亡するという事故もあり、最悪の年になってしまいました。

安全衛生委員会としては、年初の安全重点目標を基本的に毎月の安全目標を樹てて、パトロールを強化し、事故防止のため最善を尽したはずでしたが、結果的に最悪の年になってしまい、その事故を反省するよりも、この一年を早く忘れてしまいたいような心境になりました。

皆さん、新しい年を迎えました。気持ち切替え、決意

を新たに、今年こそは今の「今年こそは」でなく頭のてっぺんから足の爪先まで「安全」の二字を浸み込ませて、真の「今年こそは」の決意のもとに、事故のない職場にしようではありませんか

### 人命尊重の意識を 安全最優先の職場に定着させ 効果的な作業を 推進させよう

人の命ほど大切なものはありません。当たり前のことであり、誰でも知っているはずですが、昨年の事故を振り返って見た場合、本当に人命を尊重しているのか疑いたくなります。運よく怪我で済んだようなもので、もしもこうなったら、と思うと身震いがでる程です。転落した時や車にはねられた時に、もし打ちどころが悪かったなら、また、十字路で車が衝突した時に、もし普段と同じように左ハンドル車を運転していたら大変でした。幸運にも怪我で済んでいないのです。安全活動に幸運を期待してはなりません。人命尊重、安全最優先という文字ではなく、一人ひとりが肚の底まで意識し、その意識を職場全体のものとして定着させなければなりません。

現在、人手不足、下請不足のほか、工期が迫っているなどで現場は多忙を極めております。現場が多忙になると無意識のうちには仕事第一、安全第二になってしまいますが、事故が発生すると、その処理のために多くの人に多くの厭な仕事が増え、結果的に非効率になってしまいます。しかも、非効率になる以上に、事故発生によって、本人はもちろん、家族も職場も悲惨な目に合つて、不幸になってしまいます。

皆さん、明るい職場、楽しい職場こそ効果的な仕事の基盤になるわけですから、そのためにも人命尊重、安全最優先を新しい年の初めに全員で真剣に再認識しましょう。

### 平成二年度

## 安全標語優秀作

### 基本動作を素直に守ろう

### 無事故の職場が能率職場



土木部 加藤 勲

### 銀賞

予定をたてて無駄省き

慣れて省く安全確認

技術管理課 米屋 真一

### 銀賞

整理整頓後始末

よくする職場に事故はなし

土木課 船木 弘子

### 歩行者保護のマナーを ゆとり運転の職場に浸透させ 交通事故ゼロを 達成しよう

車に乗ると、どうしたわけか優越感を覚え、無意識のうちに歩行者を無視してしまうことがあります。また、運転者の立場でみれば、自分たちは法規を守っているのに、自転車や歩行者こそ無謀で、わがままだと思いたくもありません。しかし、歩行者は弱いのです。特に子供と老人は弱いのです。仮りに歩行者が無謀でも、運転者は、その歩行者を保護しようという心のゆとりが欲しいと思います。この

ゆとりが安全運転の原点です。当社では、二十年も前から青藤会活動を通じて、交通安全活動を重視し、地域の指導的な立場をとってきました。しかし、最近の事故発生状況を見ると、その立場もゆらぎます。もう一度初心に戻って、交通安全とは何か、ということ全員で見つめ直し認識し合わなければなりません。

交通事故防止については、社会全体の命題でもありますが、運転技術の向上以前の問題として、歩行者保護と、ゆとり運転のマナーを職場の隅々まで浸透させましょう。これが交通事故ゼロを達成するための唯一、最善の方策だと思えます。

# 加藤組のあゆみ ⑫

## 私が入社した頃

私が当社に入社したのは、昭和四十六年四月で、現在は現在の海光会館でした。社員は十名で、現在と比較にならないほど少なく、作業機械も不足だったので、作業員は多く、ピーク時には百二十人を超えていました。その手配のため、故佐藤副社長と、当時若かった伊勢本部長の二人が自らジープを運転して、現場管理、作業員配置も兼ねながら、フル回転の実行で、私たち若い者は現場の厳しさを体で覚えました。

今に加藤道場のところにア  
私が入社直後から建築工事を担当させられました。なに

もわからないまま施工を進め  
職人の手元みたいなことばかりで、土工のときは作業員と一緒にスコップを使い、木

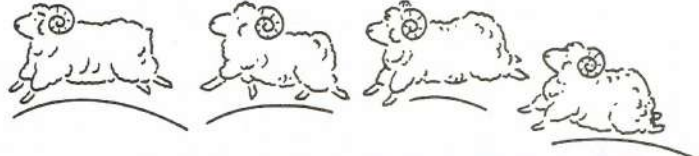
うになり、夢中で今日まで過  
してきたような気持です。現在の本社中央部分と加藤

加藤義康後援会が発足しま  
した。全社をあげて後援し、必勝を期しましょう。

# フアミリー紹介

海光号チーフリーダー

## 佐々木敏雄さん一家



妻 真喜子さん (36歳)  
長男 真一くん (小5)  
長女 優子ちゃん (5歳)

佐々木敏雄さんは、昭和四十九年に入社して以来、海光号の乗組員として港湾工事に従事してきました。入社以前も漁船に乗っておりましたので、まさに海一筋に生きてきた男ということになります。昭和五十三年三月に結婚、翌年生まれた長男の真一君は戸賀小学校の五年生で、野球部に所属し、ポジションは投手、新チーム結成にあたってキャプテンに指名されるなどの成長ぶりです。

長女の優子ちゃんは、戸賀保育所に入っております。家のなかでは元気でも、人みしりする性格のため、外では無口で心配していましたが、この間の保育所でのクリスマスパーティーでは大活躍し、たくましくなってきました。奥さんは美人で丈夫で、実家で経営している水族館の売店を手伝いながら一家を支え旦那さんが心おきなく海の仕事をできるよう、しっかりと家庭を守っています。

今年も暖冬模様です。最近  
は雪のない正月に慣れてきました。スキー場は困っている  
ようですが、暖かい冬のため  
灯油も値下り気味ですし、現  
場の仕事も順調に進められる  
ことは有難いことです。

## 編集後記

ベルシヤ湾岸地域の紛争、東西ドイツの統一、一党独裁を放棄したソビエト等国外に問題の多かつた平成二年から、平成三年は平静のうち  
に明けました。  
皆さん、新年おめでとうございます。

渡部邦明さん(土木課)と  
高橋美穂子さん(情報管理)の結婚式が二月八日に予定されています。久々の社内結婚であり、心からお祝い申し上げます。